

平成 24 年度(2012 年度)船の科学館 基盤整備事業 事業完了報告書

1. 学芸振興活動

(1) 「船の科学館MINI 展示場」の一般公開

入場者数	97,490名
公開日数	307日
当館の休館日に伴う未公開日数	58日

※展示品のうち経年劣化により修理不能となった「操船シミュレーター」に代わり「海上保安庁PCクイズブース」を設置した。

(2) 初代南極観測船“宗谷”の一般公開

乗船者数	75,331名
公開日数	307日
当館の休館日に伴う未公開日数	58日

(3) 収蔵品データベースの整備

本年度に更新した収蔵品管理システムの効果的な運用を図るため、収蔵資料のうちの船舶模型800点余のデータを整備した。

(4) 資料の受入

- ①購入・制作資料 「東都名所両国夕涼の図」 等15件
- ②寄贈その他資料 「ポスター 客船“ノルマンディ”」 等97件

(5) 資料の貸出

①三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所

貸出資料：二式大型飛行艇火星22型エンジン 2基
期 間：平成24年4月1日～平成25年3月31日（継続）

②警視庁東京湾岸警察署

貸出資料：船舶模型“カティ・サーク” 等3点
期 間：平成24年4月1日～平成25年3月31日（継続）

③中央区立郷土天文館

目 的：特別展「月島百景 佃・月島・勝どき・晴海・豊海 水のまちの120年」
貸出資料：船舶模型“通運丸” 等4点
貸出期間：平成24年5月18日～7月6日

④フェルケール博物館

目 的：企画展「明治の錦絵展」～船の科学館コレクションより～
貸出資料：錦絵「東京第一名所永代橋の真景」 等32点
貸出期間：平成24年6月14日～8月3日

⑤鹿児島県歴史資料センター黎明館

目的：企画特別展「徳川将軍家と島津家 一名宝と海に生きる薩摩」

貸出資料：船舶模型 御朱印船“末次丸” 等4点

貸出期間：平成24年9月12日～11月10日

⑥神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館

目的：常設展示や企画展示の充実

貸出資料：船舶模型 原子力船“むつ” 1点

貸出期間：平成24年8月15日～平成25年3月31日

⑦チームニシムプロジェクト

目的：沖縄漁船サバニの保存・活用

貸出(委託)資料：沖縄漁船サバニ

貸出(委託)期間：平成24年11月1日～平成26年3月31日(予定)

⑧呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）

目的：企画展「海軍記録画展 ー絵画に見る海軍の歴史ー」（後期）

貸出資料：絵画「翼下の休息（ウエーキ島にて）」 等2点

貸出期間：平成25年3月31日～6月20日(予定)

⑨東京みなと館

目的：写真展「クルーズ客船と港のにぎわい」

貸出資料：写真パネル「ドブロブニク港の豪華客船」 等7点

貸出期間：平成25年3月20日～6月15日(予定)

(6) 写真資料の貸出

出版社等への写真資料の貸出 33件 108点

(7) 資料の借用

①東京国立博物館

借用資料：漆-3499 船舶模型“麒麟丸” 等14点

借用期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日

②榊商船三井

借用資料：船舶模型“報国丸” 等3点

借用期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日

③東京大学大学院

借用資料：船舶模型“小菅丸” 等13点

借用期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日

④鉄道博物館

借用資料：船舶模型 千石船（半割） 等6点

借用期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日

⑤山高 登氏

借用資料：黄海海戦で奮戦する“赤城”油彩画 等37点

借用期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日

⑥大家宏之氏

借用資料：船舶模型 北前船“両徳丸”（縮尺1／20） 1点

借用期間：平成20年4月1日～平成25年3月31日

(8) 資料の譲渡

資料の有効活用の観点から、哺乳類・鳥類の剥製12点を国立科学博物館へ譲渡した。

(9) 博物館活動への参加

①みなとの博物館ネットワークフォーラム平成24年度通常総会

開催日：平成24年6月16日

場 所：(公財)帆船日本丸記念財団 訓練センター

②日本フローティングシップ協会平成24年度定期総会

開催日：平成24年6月22日、23日

場 所：富山港 帆船“海王丸”

③平成24年度第1回東京都博物館協議会常務理事会・理事会及び(財)日本博物館協会
東京支部委員会・総会・研修会

開催日：平成24年8月3日

場 所：国立新美術館

④平成24年度全国博物館長会議

開催日：平成24年10月25日、26日

場 所：秋田キャッスルホテル

⑤みなとの博物館ネットワークフォーラムスキルアップ交流会

開催日：平成24年12月19日、20日

場 所：なにわの海の時空館

⑥全国科学博物館協議会海外科学系博物館視察研修

開催日：平成25年1月14日～25日

場 所：ウィーン（オーストリア）、ミラノ（イタリア）、ルツェルン（スイス）

⑦平成24年度第2回全国科学博物館協議会総会及び第20回研究発表大会

開催日：平成25年2月28日、3月1日

場 所：愛媛県立総合科学博物館

⑧平成24年度第2回東京都博物館協議会常務理事会・理事会及び(財)日本博物館協会
東京支部委員会・総会・研修会

開催日：平成25年3月12日

場 所：国立科学博物館

⑨平成24年日本フローティングシップ協会研修会

開催日：平成25年3月29日

場所：(公財)帆船日本丸記念財団 訓練センター

(10) 催事等の開催

①カヌー操船体験教室

カヌーの操船体験を通して、海と船への興味と関心を喚起するとともに、浮力や復元性など、実体験の中から学んでもらう教室を開催した。

開催期間：平成24年5月～10月

5日間

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：244名

②講談「南極第一次観測隊物語」

講談師 宝井梅福氏が、初代南極観測船“宗谷”にまつわる物語を、臨場感溢れる講談にして来館者に伝えた。

開催期間：平成24年4月～平成25年2月

11回

開催場所：“宗谷”士官食堂等

参加者数：176名

③セーリングカヌー操船体験教室

プロセーラー西村一広氏を代表とするチームニシムラプロジェクト及び東京海洋大学ヨット部OBの協力を得て、セーリングカヌーの操船体験教室及びスキルアップ講習会を行った。

開催日：平成24年5月～10月

6回

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：319名

④江戸木造和船細工展示

ボランティアの中山幸雄氏が制作した江戸の町並みや港に停泊する船の様子を同一縮尺で再現した「江戸湊」のジオラマ模型を展示し、同氏による解説を行った。

開催期間：平成24年11月23日～25日

3日間

開催場所：船の科学館エントランスホール

入場者数：1,043名

⑤飾り毛布制作実演

元青函連絡船乗組員等のボランティアによる飾り毛布の制作実演と体験教室を開催した。

開催日：平成25年3月9日

1回

開催場所：船の科学館エントランスホール

参加者数：90名

⑥ボランティアの展示解説

「船の科学館MINI展示場」及び初代南極観測船“宗谷”について分かりやすく展示解説した。

開催期間：随時

76回

開催場所：「船の科学館MINI展示場」、「宗谷」

⑦古文書解説会

青山学院大学 名誉教授 片桐一男氏及び古文書解説ボランティアグループが、船の科学館所蔵の古文書資料の解説及び基本資料「和漢船用集」の校訂作業を実施した。

開催日：随時

開催場所：船の科学館A会議室

(11) 共催・後援・協力事業

「海」「船」「環境」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力をを行い、海事科学知識の普及啓発に努めた。

①平成24年度お台場「水辺の安全教室」

開催期間：平成24年7月7日

開催場所：お台場海浜公園

主催：(公財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

参加者数：200名

②「夏休み東京港親子社会科見学会」

開催期間：平成24年8月3日

開催場所：船の科学館、青海客船ターミナル他

主催：東京都港湾局

参加者数：338名

③第11回水ものフェスティバル in 船の科学館

開催期間：平成24年8月26日

開催場所：船の科学館 体験教室プール

主催：水ものフェスティバル in 船の科学館実行委員会

参加者数：53名

④練習帆船“海王丸”の出航を見送ろう！

開催期間：平成25年1月12日

開催場所：練習帆船“海王丸”及び航海訓練所専用栈橋

主催：(独)航海訓練所

参加者数：350名

⑤青函連絡船 終航25周年 記念講演会

開催期間：平成25年3月9日

開催場所：船の科学館エントランスロビー

主 催：青函連絡船史料研究会

参加者数：90名

(12) 出版資料

①船の科学館叢書7「船鑑」

当財団が所蔵する享和2年(1802)作成の関東一円の川船識別図鑑とも言える「船鑑」について、掲載されている33点の船図を実物の70%の大きさに紹介するとともに、詳細な解説を付して制作・発行した。

②船の科学館資料ガイド11「にっぽんの海」<改訂新版>

平成23年6月に発行した船の科学館資料ガイド11「にっぽんの海」について、大陸棚延長や尖閣諸島の国有化など、最新の情報、写真、図版を加えて<改訂新版>として制作・発行した。

③船の科学館収蔵資料目録1<船舶模型>

収蔵資料の船舶模型800点余のうち、151点について寸法計測、写真撮影を行って解説を付し、「船の科学館収蔵資料目録1<船舶模型>」として制作・発行した。

2. 広報活動

- (1) 「海」「船」「環境」などをテーマとした行催事への共催・後援・協力
- (2) 船の科学館ホームページの運営
- (3) 新聞等の宣伝効果が期待できる媒体に広告掲載
- (4) 各行催事の案内リリースをマスコミやインターネット情報サイト等に発信
- (5) マスメディアへの取材要請及び撮影や番組制作への協力
- (6) 標識掲出及び交通広告の実施

道路標識看板(港区・江東区) 3基

新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」案内看板 1基

※道路標識看板については、関東地方整備局品川出張所より看板1基の撤去依頼があり当該看板を本年度末に撤去した。

3. 諸施設の利用状況

船の科学館利用者数は、「MINI展示場」入場者数97,490名、“宗谷”乗船者数75,331名、「カヌー操船体験教室等」催事参加者数1,872名、その他共催・協力等の催事参加者数20,787名で、合計195,480名となった。